

令和4年9月

河内長野市立長野中学校

令和4年度

全国学力テスト結果・分析報告書

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析 河内長野市立長野中学校

学力調査の概要

国語

設問番号	学校の平均正答率
1一	78.3
1二	57.1
1三	40.4
2一	76.4
2二①	85.7
2二②	86.3
2三	42.2
3一	60.9
3二	85.1
3三	65.2
3四	72.7
4一	36.6
4二	90.7
4三	82.0

概要

会話文やスピーチ、資料から必要な情報を読み取り表現する問題、物語から人物の心情の変化や場面を読み取る問題が出題されている。また知識を問う問題に関しては、漢字、書写の行書、表現技法、助動詞などが出題された。

特に成果が見られた問題例

2二①②の漢字の問題、2一助動詞の働き、3一表現技法など国語の知識を問う問題に関しては授業で丁寧に復習を積み重ねたことで特に成果が見られた。

特に課題が見られた問題例

1二の会話文の中で話の進め方の良さを問う問題、1三のスピーチのどの部分をどう工夫して話すのか、話す意図に関して問う問題では課題が見られた。また、2三のウェブページの内容から適切に引用する問題にも課題があった。建設的な会話を進める上で、どうすれば相手により伝わるのかなどのコミュニケーション力や資料を引用して記述する力を他者とのグループワークや資料を活用したプレゼンなどに積極的に取り組み、身につけさせたい。

数学

設問番号	学校の平均正答率
1	82.0
2	87.0
3	42.9
4	46.6
5	80.1
6(1)	82.6
6(2)	59.6
6(3)	42.9
7(1)	32.9
7(2)	36.6
8(1)	59.6
8(2)	41.6
9(1)	77.0
9(2)	16.8

概要

4領域（「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」）すべての領域から出題されている。

特に成果が見られた問題例

毎日の授業でのドリル学習、小單元ごとの宿題プリントなどを通して、基本的な問題の反復練習を行ってきたため、ほぼ全ての項目で全国・大阪府の平均正答率を上回ることができた。また、領域別では「数と式」、「図形」、「関数」において、評価の観点別では全ての観点において全国・大阪府の平均正答率を上回ることができ、無回答率も全国・大阪府平均と比べて低い結果となった。

特に課題が見られた問題例

7「データの活用」の領域において、データ分布の読み取りや数学的に説明する問題の正答率が低かった。今後は、この領域における授業内容の復習と問題演習を行い、データ分析を多面的に行う力や自分の考えを表現する力を定着させたい。

理科

設問番号	学校の平均正答率
1 (1)	44.1
1 (2)	81.4
2 (1)	62.1
2 (2)	38.5
2 (3)	26.7
3 (1)	71.4
3 (2)	56.5
3 (3)	16.8
4 (1)	68.3
4 (2)	59.6
5 (1)	8.7
5 (2)	50.9
5 (3)	43.5
6 (1)	49.1
6 (2)	60.2
6 (3)	34.8
7 (1)	32.9
7 (2)	52.8
8 (1)	50.3
8 (2)	52.2
8 (3)	45.3

概要

概要

4領域(「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」)すべての領域から出題されている。選択式問題15問、短答式問題1問、記述式問題5問であった。

特に成果が見られた問題例

領域別に比較すると、「地球」の領域の問題の正答率が府・全国を上回った。評価の観点別に比較すると、知識・理解の問題の正答率が府・全国を上回っていた。また、出題形式別で比較すると、選択式の問題では、全国・府の平均正答率を上回る問題が多く見られた。記述式でも8(3)では全国・府を上回っていた。

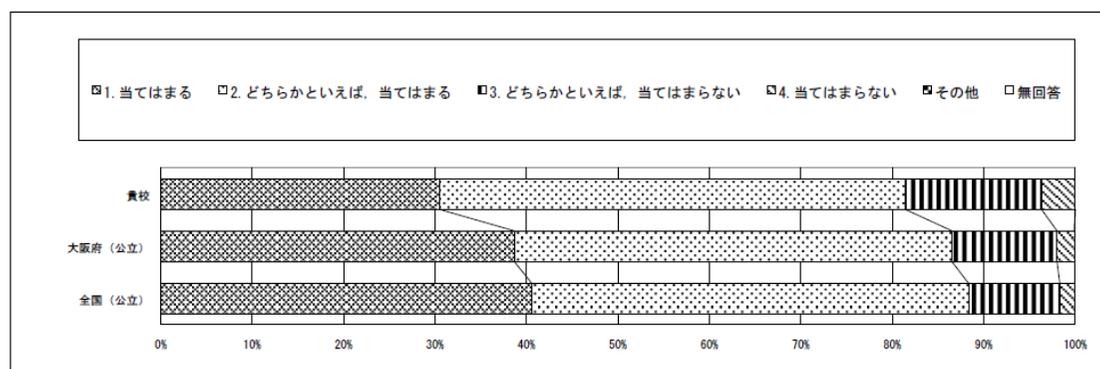
特に課題が見られた問題例

領域別に比較すると、「粒子」の問題の正答率が府・全国の平均に比べ下回っていた。評価の観点別に比較すると、思考・判断・表現の問題の正答率が府・全国の平均を下回っていた。

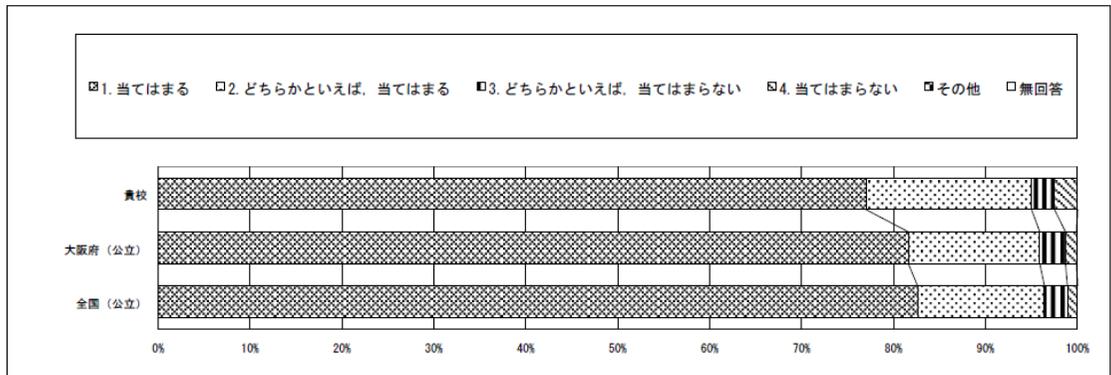
今後は、授業の中で生徒の考えを共有させる場面や実験・観察の計画や結果を考察する場面を設け、計画の改善や考察の妥当性について判断し、表現する力を身に付けさせていく。

学習状況調査の概要 生徒アンケート

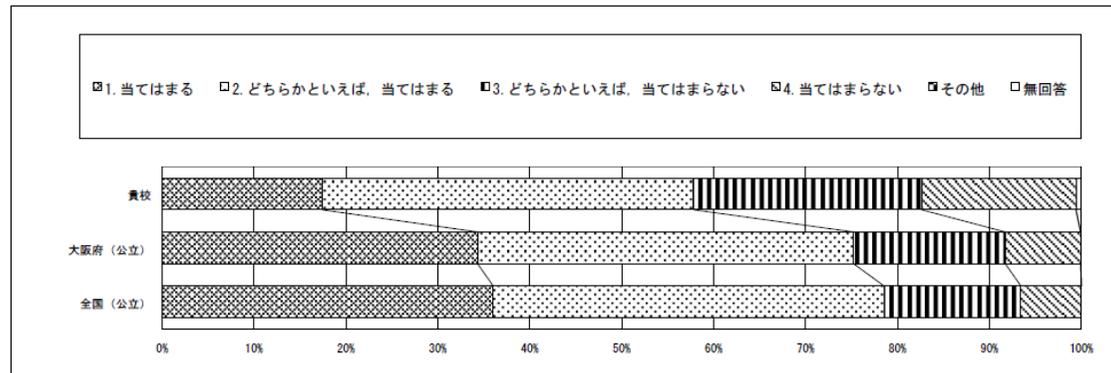
質問番号	質問事項										
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	30.4	50.9	14.9	3.7						0.0	0.0
大阪府(公立)	38.7	47.9	11.5	1.9						0.0	0.1
全国(公立)	40.6	47.8	10.0	1.6						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	77.0	18.0	2.5	2.5						0.0	0.0
大阪府（公立）	81.6	14.3	2.8	1.2						0.0	0.1
全国（公立）	82.6	13.8	2.5	1.1						0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(7)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	17.4	40.4	24.8	16.8						0.0	0.6
大阪府（公立）	34.3	40.9	16.5	8.2						0.0	0.1
全国（公立）	36.0	42.5	14.9	6.6						0.0	0.0



概要

学校生活・家庭地域での生活における学習状況に関するアンケートです。

成果が見られた項目からは、

「学校生活では、困っている人を進んで助けようとする気持ちやいじめはどんな理由があってもいけないという気持ちが育っている。また、困り事や不安がある時には大人に相談することができる生徒が多い。

地域家庭では全国平均と比べて読書の時間や地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらった、一緒に遊んでもらったりする時間が多い。

学びにおいては、ICTを利用した学習を学校内外において進んでいる。また、自分の考えをまとめ発表する場面では工夫することができる生徒が多い。」ことがわかります。

一方、課題が見られた項目からは、

「自分自身の良いところを認めてもらう経験をすること、自分で学習計画を立て家庭で勉強をすること、新聞や読書の習慣を身につけること、教科で学んだことをまとめる活動を行うこと、学級での話し合いを生かして今自分が努力することを決めて取り組むこと」について改善する必要があるといえます。

特に成果が見られたアンケート項目例（全国平均と同等かそれ以上の水準であるもの。または、肯定的な意見が80%以上であるものなど）

- (1) 人が困っているときは、進んで助けていますか
- (3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- (12) 人が困っているときは、進んで助けていますか
- (13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- (14) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- (15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- (18) 友達と協力するのは楽しいと思いますか
- (23) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
- (28) 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事の先生は除く）
- (32) 1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- (32) 1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- (33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）
- (34) 学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
- (35) 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
- (36) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- (36) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- (37) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか
- (38) 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
- (49) 国語の勉強は好きですか
- (50) 国語の勉強は大切だと思いますか
- (51) 国語の授業の内容はよく分かりますか
- (52) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (53) 数学の勉強は好きですか
- (54) 数学の勉強は大切だと思いますか
- (55) 数学の授業の内容はよく分かりますか
- (56) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (56) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (57) 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
- (66) 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか

特に課題が見られたアンケート項目例(全国平均よりも大きく下回るものや肯定的意見が60%以下のものなど)

- (5) 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか
- (6) 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)
- (7) 自分には, よいところがあると思いますか
 - (11) 難しいことでも, 失敗を恐れないで挑戦していますか
 - (20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)
 - (21) 学校の授業時間以外に, 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間, インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
 - (22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に, 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間, インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
 - (23) 学校の授業時間以外に, 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 読書をしますか(教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く)
 - (24) あなたの家には, およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌, 新聞, 教科書は除く)
 - (25) 新聞を読んでいますか
 - (26) 読書は好きですか
 - (27) 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか
 - (29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか
 - (30) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
 - (33) 学校で, 授業中に自分で調べる場面で, PC・タブレットなどのICT機器を, どの程度使っていますか(インターネット検索など)
 - (34) 学校で, 学級の生徒と意見を交換する場面で, PC・タブレットなどのICT機器を, どの程度使っていますか
 - (35) 学校で, 自分の考えをまとめ, 発表する場面で, PC・タブレットなどのICT機器を, どの程度使っていますか
 - (37) 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を, 勉強のために使っていますか
 - (40) 1, 2年生のときに受けた授業では, 各教科などで学んだことを生かしながら, 自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
 - (47) 学級活動における学級での話し合いを生かして, 今, 自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
 - (57) 数学の授業で学習したことを, 普段の生活の中で活用できないか考えますか
 - (64) 理科の授業で学習したことを, 普段の生活の中で活用できないか考えますか
 - (65) 理科の授業で学習したことは, 将来, 社会に出たときに役に立つと思いますか
 - (66) 将来, 理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか
 - (67) 理科の授業では, 自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか
 - (68) 理科の授業で, 観察や実験の結果をもとに考察していますか
 - (69) 理科の授業で, 観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか

学校や校区で重点的に取り組んでいくこと

授業改善

○授業研究

授業見学週間や初任者・10年経験者の研究授業時に相互参観を行い、課題を検証し、改善に向けた校内研修を行う。今年度はロイロノートの活用を通して協働的な学びを充実させることをテーマとしている。思考ツールやノートの編集作業を通して個別で考え、提出や送信機能で共有を図る。実際の交流と組み合わせるグループやクラスで学びを深める。

○見通し・生徒活動のある授業（言語活動・協働学習の充実）

初めにめあてを明示し、主体的に取り組ませる。生徒の活動場面では、日常に即した内容でデータを分析・活用する、自分の考えを条件に合わせ、論理的に説明する場面を多く設け、交流を行う。終わりにはまとめの板書、問題演習などを行い、振り返りを行う。

○ICTの活用の推進

個人情報（他者の肖像権含む）の管理、ネットSNS利用時の人権侵害など情報モラル・セキュリティの理解をはじめに、一人一台端末を活用し、タイピングなどの操作力や情報収集とその分析などのデータ活用能力を高める。

○基礎学力の定着

翌授業の復習テスト・単元末テスト・既習単元テストなど小テストに取り組む。また、定期テスト及び国府の学力調査におけた対策演習を行う。

多様な学び

○学びの自律

生徒自らの学習PDCAサイクルの実施（テスト計画表の作成やキャリアポートを活用した課題発見と解決策の検討）

○家庭でのICT活用

GIGAスクール構想の考え方から一人一台端末を学習に利用できるよう学校の授業だけでなく、家庭においてもタイピング練習、検索などの調べ学習やレポート（音声や写真・動画含む）提出できるよう持ち帰り学習を定期的に行う。（毎週末か2週に一度の頻度）

○読書習慣の確立

朝の10分読書や国語科の授業などにおいて読書時間を設定する。学びの道（自習学習教材を陳列している廊下）に図書を陳列し、興味関心を引き出す。

○新聞学習

週に1度、朝学習時に、読み解き新聞ワークシートなどを活用した新聞学習を実施する。学びの道に中高生新聞と統合版を閲覧できる新聞コーナーを設置する。

○放課後学習

月に4回、全学年を対象に放課後学習会を実施する。図書館開室と連携して放課後学習ができるようにする。

○自主学习（家庭学習）

大阪府教育委員会の「学びチャレンジ(確認・補充・発展)」を整備し、いつでも持ち帰って学習に取り組めるよう自学自習プリントBOXを設置する。（5教科）

○自由課題（長期休業中）

作文、作画、書道、研究など自ら興味のある課題に取り組む。

○学級活動の充実

生活や行事での課題を学級で自主的に取り上げ、解決方法を考え、実践する。

○地域活動への参加

地域の伝統行事や文化教室などへの参加を促し、地域住民との交流を充実させる。その中で地域や社会をよくするには自分がどう関わればよいかを考える契機にする。

生徒のみなさんに取り組んでほしいこと

学習の取り組み

○学習や生活において自らの課題を分析し、その課題を克服できるよう計画をたて、実施する。



○興味のある本を読む。文章の意味をとらえ、自分の体験や知っている事柄と関連付けて、自分なりに感じ、理解する。

○新聞やニュースを見聞きし、社会で起きている事象について、自分の生活に置き換えて考える。自分の感じたことや体験から考え、自らの言葉で文章を書いたり、話したりする。

○スマホやネット（SNS, 動画視聴）の利用が長時間にならないようにする。学習用端末を家庭で利用する。タイピング練習や情報収集、文書作成・提出等に用いる。

保護者のみなさんに取り組んでほしいこと

ご家庭や地域において多様な学びが充実するよう学習環境を整えましょう。

①お子様が興味のある本を図書館で借りる、買うなどして本を読むことができる環境を整えましょう。

②新聞やTV、インターネットでのニュースを家族の話題にし、起きている事象の背景を保護者からお子様へ伝え、どのように感じるか、どんな問題が考えられるか、どのようにすれば事象における問題が解決するかなどについて話し合うようにしましょう。

③地域活動について、家庭ぐるみで参加し、地域社会において多様な体験や関わりを持てるようにしましょう。

④学習できる机や部屋を整え、学習中にはできるだけ静かな空間を作りましょう。また、スマホやSNS、インターネットの使用について、時間や使い方など家庭内のルール作りをお願いします。